

(C)大日本スクリーン製造株式会社 2004 年 12 月

この「はじめにお読み下さい」ファイルには、SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージご使用上の留意点や制限事項が記載されています。

ご使用の前に、必ずお読み下さい。

『SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.5.00 について』

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.5.00 では、Ver.4.10 以降、以下の機能を追加しました。

- ・Microsoft Office に貼り込まれた JPEG/PNG 画像を、JPEG/PNG フォーマットのまま出力出来るようになりました。

Microsoft 社の Windows95 のサポート中止に伴い、弊社でも AVANAS MultiStudio (SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ含む) における Windows95 のサポートを中止します。

## 0. はじめに

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.5.00 は、AVANAS MultiStudio Office パッケージ・Office オプションをより効果的に運用いただくための機能を数多く搭載し、合わせて従来バージョンの問題や不具合等も修正・改良しております。

本書では、この Ver.5.00 の機能をお使いいただく上での、AVANAS MultiStudio の Windows 取り込み機能に関する内容も含めて、運用に当たっての注意点や 使用する際の留意点・制限項目を記載しております。

尚、本 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.5.00 は以下の条件を満たすことにより、無償で再配布していただくことが可能となっております。

条件：

- ① SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ 使用許諾に同意していただく。  
(本 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.5.00 「はじめにお読み下さい」を含む。)
- ② 再配布していただく際には、必ず①の SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ使用許諾書ならびに「SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.5.00 「はじめにお読み下さい」を許諾ソフトウェア(ドライバーパッケージ)に添付していただくこと。  
(故意に使用許諾を変更しない限り、SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージと許諾書の入ったフォルダーごと配布していただければ、条件を満たします。)
- ③ 再配布していただいた SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージにつきましては、サポート対象商品ではありません。  
したがって、インストール方法を含め、操作、仕様に関するご質問は弊社では一切お受けできないことにご同意いただくこと。

## 一 目 次

1. パッケージ構成
2. 運用上の留意点
  - 2.1 Windows データ取り込み時のご注意
  - 2.2 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ運用上の留意点
3. SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ使用時の留意点・制限項目
  - 3.1 SCREEN MultiStudio ドライバーの留意点・制限項目
  - 3.2 SCREEN MultiStudio Viewer に関する留意点・制限項目

- 3.3 SCREEN MultiStudio Viewer/Print に関する共通の留意点・制限項目
- 3.4 SCREEN MultiStudio Compress に関する留意点・制限項目
- 3.5 SCREEN MultiStudio Scheduler に関する留意点・制限項目
- 4. Unicode 固有文字使用時の留意点
  - 4.1 Justsystem 一太郎に関する留意点
  - 4.2 Microsoft Word/Justsystem 一太郎に関する留意点
  - 4.3 Unicode 固有文字を入力する場合の留意点

## 1. パッケージ構成

Viewer/Print/Compress 機能、用紙設定ツール、および SCREEN MultiStudio ドライバーが、一つのパッケージになっています。

SCREEN MultiStudio パッケージは、以下の6つの機能から構成されています。

- SCREEN MultiStudio ドライバーインストール／アンインストール  
SCREEN MultiStudio ドライバーをインストール／アンインストールするツールです。  
WindowsNT4.0/2000/XP, 98/Me の区別なく、プログラムメニューより複数バージョンの SCREEN MultiStudio ドライバーのインストール・アンインストールが可能です。
- SCREEN MultiStudio Viewer  
SCREEN MultiStudio ドライバーにて出力した結果を、画面上で校正・確認するツールです。  
SCREEN MultiStudio ドライバーから出力したプリンタファイルを開く事で、出力結果を画面上で確認/プリンタ出力する事ができます。  
SCREEN MultiStudio ドライバーからの起動が可能で、SCREEN MultiStudio ドライバーへの出力と同時に出力結果を確認する事が出来ます。  
また、プリンタファイル、SCREEN MultiStudio Compress により圧縮されたプリンタファイルをダブルクリックする事により、SCREEN MultiStudio Viewer を起動しダブルクリックしたプリンタファイルを表示する事が可能となりました。
- SCREEN MultiStudio Print  
SCREEN MultiStudio ドライバーより出力したプリンタファイルをプリンタ出力するためのツールです。  
SCREEN MultiStudio ドライバーからの起動が可能で、SCREEN MultiStudio ドライバーへの出力と同時にプリンタ出力が可能です。
- SCREEN MultiStudio Compress  
SCREEN MultiStudio ドライバーより出力したプリンタファイルを圧縮・解凍するツールです。  
クライアントとのプリンタファイルの受け渡しを行う場合は、このツールにて圧縮したプリンタファイルにて行う事により、効率が大幅に改善されます。  
SCREEN MultiStudio ドライバーからの起動が可能で、SCREEN MultiStudio ドライバーへの出力と同時に圧縮したプリンタファイルの作成が可能です。
- SCREEN MultiStudio Scheduler  
SCREEN MultiStudio Viewer/Print/Compress を管理・制御する常駐ソフトです。  
SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージをインストール時に、自動的に設定され、Windows 起動時もしくは、ログオン時に自動的に起動・実行されます。
- 用紙設定ツール  
SCREEN MultiStudio ドライバーにて使用する出力用紙を管理/追加するツールです。  
カスタム用紙の追加/削除、SCREEN MultiStudio ドライバーにて使用する用紙の登録/解除、用紙設定情報のバックアップ/リストアが出来ます。

## 2. 運用上の留意点

### 2.1 Windows データ取り込み時のご注意

- (1) AVANAS MultiStudio Ver.5.00 でリリースされた Windows データの取り込み機能は、Ver.4.20 以降報告されました取り込み時の制限や、不具合が修正・改善されており、Ver.4.20 に比較して、取り込み時

の精度がより上がり、透過性が高くなっております。

しかしながら、OS 環境、フォント環境の違いやデータによっては、AVANAS MultiStudio に正しく取り込めない場合があります。

運用にあたっては、SCREEN MultiStudio Viewer を使用して、クライアント側にて SCREEN MultiStudio ドライバーより出力した結果を画面上で確認・校正していただき、必要に応じて、SCREEN MultiStudio Viewer/Print よりプリンタ出力した校正紙と取り込み結果を確認いただきますようお願いいたします。

一般的に、オリジナルのドキュメントを作成された環境（フォント、プリンタドライバの出力解像度等）と、出力する環境が異なると、同じ出力結果が得られない場合があります。

また、一部フォントにおいては、縦組みの表示や字送りがズレる場合がありますので、御注意下さい。

- (2) 古いバージョンの SCREEN MultiStudio ドライバーにて出力したプリンタファイルを取り込んだ場合、正確に出力結果を再現できない場合があります。

又、SCREEN MultiStudio ドライバ Ver.5.00 で出力したプリンタファイルは、AVANAS MultiStudio Ver.5.00 でしか取り込めません。

- (3) 文字コードの取り込みにて、Windows データ取り込みを行う環境のフォント内に取り込む文字のコードが存在しない場合、その文字はアウトラインで取り込みます。
- (4) 文字コードの取り込みにて、欧文/Symbol 類フォントの一部のコードがアウトラインで取り込まれます。アウトラインで取り込まれるコードは、UNICODE:0x00a7, 0x00a8, 0x00b0, 0x00b1, 0x00b4, 0x00b6, 0x00d7, 0x00f7, 0x036f 以降です。

## 2.2 SCREEN MultiStudio ドライバパッケージ運用時の留意点

- (1) Windows アプリケーションについて

Windows アプリケーションの殆どは、出力するプリンタドライバより用紙サイズ、使用可能フォント等のデータを取得し、そのデータを元にドキュメントを構築します。

その為、出力するプリンタドライバを変更するだけで、ドキュメントの体裁が崩れる事があります。Windows アプリケーションにて、ドキュメントを作成される場合は、SCREEN MultiStudio ドライバを予め出力するプリンタに設定される事を推奨します。

又、Windows アプリケーションよりの出力結果については、出力したプリンタファイルを SCREEN MultiStudio Viewer/Print での表示/プリンタ出力の結果にて確認して下さい。

- (2) プリンタファイルの出力元 OS と SCREEN MultiStudio Viewer/Print について

WindowsNT4.0/2000/XP にて出力したプリンタファイルを Windows98/Me 上の SCREEN MultiStudio Viewer/Print で表示/プリンタ出力する場合、WindowsNT4.0/2000/XP と Windows98/Me の能力の違いにより、正確に表示/プリンタ出力出来ない場合があります。

Windows98/Me にて出力したプリンタファイルを WindowsNT4.0/2000/XP 上の SCREEN MultiStudio Viewer/Print で表示/プリンタ出力する場合は問題ありません。

- (3) Windows アプリケーションと MultiStudio ドライバについて

SCREEN MultiStudio ドライバに出力すると、Windows アプリケーション側の元ドキュメントに存在する部品が欠落したり、何も出力されないといった現象が発生する場合があります。

このような現象が発生する原因は、SCREEN MultiStudio ドライバが GDI プリンタにも係わらず、EPS 画像の取り込みなどを可能とするため、PS プリンタドライバとしても動作可能な機能をもっており、アプリケーション側が PS プリンタと誤認してデータを出力する場合があるために発生します。

この現象が発生した場合は、この PS プリンタ動作機能をオフにして、SCREEN MultiStudio ドライバを完全に GDI プリンタドライバに設定する事で回避可能です。

回避方法は、SCREEN MultiStudio ドライバのプロパティ"EPS 部品データ出力"を一時的に<無効>にして、再度出力し直して下さい。

(プロパティの設定方法については、SCREEN MultiStudio ドライバ Ver5.00 CD 内の SCREEN MultiStudio ドライバのマニュアルを参照下さい。)

- (4) EPS 画像の出力について

Windows アプリケーション側のドキュメントに貼り込まれている EPS 画像を EPS データとして出力し、AVANAS MultiStudio に取り込む事が可能です。

但し、EPS 部品の出力に関しては、以下の留意点・制限がありますので、ご注意下さい。

①SCREEN MultiStudio ドライバーでは、Microsoft Word2000/2002/2003、Excel2000/2002/2003、PowerPoint2000/2002/2003、Publisher2000/2002/2003 上の EPS 画像のみ、EPS データとして出力可能です。その他の Windows アプリケーションより出力された EPS 部品は、プレビュー画像での出力となります。

②上記の出力可能な Windows アプリケーションの場合でも、ドキュメントによっては、EPS 画像を正常に出力できない場合があります。

このような場合には、上記（３）の回避方法と同じように SCREEN MultiStudio ドライバーでは、プロパティ"EPS 部品データ出力"を一時的に＜無効＞にして、再度出力し直すと、EPS 部品を取り込む事が可能です。

但し、この場合は、①のその他の Windows アプリケーションからの出力と同じように、プレビュー画像での出力となります。

#### （５）SCREEN Viewer/Print よりのプリンタ出力時の留意点

SCREEN MultiStudio Viewer/Print から一般的なプリンタに印刷する場合、以下の留意点があります。

①PS プリンタには、画像データを合成して出力するといった部品間の論理演算を行って表現する部品を、正確に出力出来ない場合があります。

できるだけ GDI プリンタにて出力していただく事を推奨します。

#### （６）フォントに関する留意点

アプリケーション側で使用されているフォントに関しては、以下の留意点があります。

①SCREEN MultiStudio ドライバーでは、OpenType/TrueType フォント以外のフォントをサポートしていません。

ATM フォントを除く TrueType/OpenType フォント以外のフォントは、SCREEN MultiStudio ドライバー選択時に TrueType/OpenType フォントに置き換えられます。

②Adobe Type Manager を使用して、ドキュメント上に ATM フォントを使用した文字がある場合、そのドキュメントを出力すると ATM フォントを使用している文字はすべて絵柄として出力されます。

ATM を起動しない状態で出力して下さい。

③ATM が起動している状態で、Microsoft Word より出力する場合、ドキュメント上の文字全てが絵柄として出力されます。

ATM を起動しない状態で出力して下さい。

④Microsoft Word など、フォントの埋め込みで作成したドキュメントを出力すると、SCREEN MultiStudio Viewer/Print での文字のコード表示/プリンタ出力、AVANAS MultiStudio での Windows 取り込み（文字コード取り込み）が異常になる場合があります。

アウトライン表示 および AVANAS MultiStudio での Windows データ取り込み（文字アウトライン）では問題はありません。

#### （７）Microsoft OfficeXP について

SCREEN MultiStudio ドライバー Ver.3.00 以前のバージョンを用いて Microsoft OfficeXP より出力した場合、部品など欠落する場合があります。

Microsoft OfficeXP より出力する場合は、必ず SCREEN MultiStudio ドライバー Ver.3.02 以降を用いて出力してください。

#### （８）Microsoft Office2003 について

SCREEN MultiStudio ドライバー Ver.3.02 以前のバージョンを用いて Microsoft Office2003 より出力した場合、部品など欠落する場合があります。

Microsoft Office2003 より出力する場合は、必ず SCREEN MultiStudio ドライバー Ver.5.00 を用いて出力してください。

#### （９）JPEG/PNG 画像の出力について

Windows アプリケーション側のドキュメントに貼り込まれている JPEG/PNG 画像を JPEG/PNG データとして出力し、AVANAS MultiStudio に取り込む事が可能です。

但し、JPEG/PNG 部品の出力に関しては、以下の留意点・制限がありますので、ご注意ください。

①SCREEN MultiStudio ドライバーでは、Microsoft Word2000/2002/2003、Excel2000/2002/2003、PowerPoint2000/2002/2003 上の JPEG/PNG 画像のみ、JPEG/PNG データとして出力可能です。その他の Windows アプリケーションより出力された JPEG/PNG 部品は、プレビュー画像での出力となります。

②Windows データ取り込みにて、JPEG データを取り込んだ場合、外部参照の JPEG ファイルとして取り

込まれます。

- ③Windows データ取り込みにて、PNG データを取り込んだ場合、インクルード画像として取り込まれます。

## 2.2 Windows データ取り込みの留意点・制限項目

- (1) 各 Windows アプリケーション上の CMYK の部品/画像は、AVANAS MultiStudio に取り込むと元の CMYK 値とは異なる場合があります。  
これは、SCREEN MultiStudio ドライバーより出力される時に、Windows GDI を経由して行われるので、一旦 RGB となり、AVANAS MultiStudio に取り込む際に再度 CMYK に変換するためです。
- (2) AVANAS MultiStudio に取り込んだ結果は、基本的に各アプリケーションからの印刷出力結果に準じます。  
したがって、取り込んだ結果が、各 Windows アプリケーション上での画面表示と異なる場合があります。  
例えば、Microsoft Word や Microsoft PowerPoint などの浮き出し文字は、画面上とプリンタ出力の結果が異なりますが、AVANAS MultiStudio 上ではプリンタ出力結果に準じています。  
但し、プリンタ毎に出力結果が異なる場合があるため、SCREEN MultiStudio Viewer を使用して出力結果をご確認下さい。
- (3) Windows アプリケーションのネイティブデータでの引き渡しを行う場合の留意点
  - ・ Windows アプリケーションのドキュメント内で使用しているフォントは、全て SCREEN MultiStudio のプラットフォームにインストールして下さい。  
単にフォントが置き換わるだけでなく、ページの体裁が変わる場合があります。
  - ・ Windows98/Me アプリケーションで作成された縦組みの文章は、WindowsNT4.0/2000 上では、ずれる事があります。上記、二項目共、Windows アプリケーションで作成されたプラットフォームからプリンタファイルを出力した場合には、問題とはなりません。
- (4) SCREEN MultiStudio ドライバーで出力する時の解像度は、文字、罫線、画像などの精度／品質などに影響致します。  
解像度が低いと十分な精度／品質が得られない場合があります。  
そのような場合は、解像度を変更して再出力して下さい。  
但し、むやみに解像度を上げて、無意味な場合もあります。  
解像度を上げた場合、データ量が多くなり AVANAS MultiStudio での Windows データの取り込み、編集などが遅くなる場合があります。
- (5) Microsoft Excel で指定した極細線は、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合、必ず色が黒になります。  
この現象は、一般の GDI プリンタに出力した場合も同様です。  
この制限は Microsoft サポート技術情報にも記載されています。
- (6) Microsoft Word/Excel/PowerPoint/Publisher のドキュメントに貼り込まれた EPS 画像は、AVANAS MultiStudio 上で EPS ファイルとして取り込めます。  
EPS ファイルとして取り込める場合は、AVANAS MultiStudio への取り込み中に EPS ファイルを保存するフォルダを指定するダイアログボックスが表示されます。  
この場合の保存ファイル名は、"DSZ 名\_ページ番号\_番号.eps"となります。  
作成されるファイルは、常に新しいファイルとして保存します。  
その他 Windows アプリケーションのドキュメントに貼り込まれた EPS 画像は、常にプレビュー画像を取り込みます。
- (7) Microsoft Word で出力したデータで、文字と背景の重なり順が入れ替わってしまう場合があります。  
この場合は、Microsoft Word 側でドキュメントのヘッダー領域に空白を挿入して再度出力し直すと回避出来る場合があります。  
この情報は、Microsoft サポート技術情報に記載されています。
- (8) Adobe PotoShop などで作成した白色部分を透明指定した 1bitEPS を貼り込んだドキュメントを出力し、AVANAS MultiStudio に取り込むと、取り込まれた 1bitEPS の透明指定した白色部分が AVANAS MultiStudio 側での EPS 表示の制限により透明になりません。

出力に関しても透明部分が正常に出力されるかどうかは、出力先 RIP の仕様に依存します。

- (9) Justsystem 一太郎より出力したプリンタファイル、OLE が貼り込まれたドキュメントを出力したプリンタファイルを AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合、イラストの下地が透ける場合があります。この現象は、AVANAS MultiStudio に取り込む際にイラストを ImageMask に変換している為です。AVANAS MultiStudio に取り込む際、[補助] - [Windows データ設定] の [詳細設定] 内” 1Bit 画像の ImageMask 化” を OFF する事により、正常に取り込まれます。
- (10) Microsoft Publisher2003 で印刷用マークを設定して出力したプリンタファイルを取り込むと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合には、印刷用マークを設定しないで出力して下さい。

### 3. SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ使用時の留意点・制限項目

#### 3.1 SCREEN MultiStudio ドライバーの留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Ver.5.00 で提供している Windows データ取り込み用のドライバー"SCREEN MultiStudio"は、Windows98/Me,NT4.0/2000/XP 上でのみ動作します。
- (2) [スタート] メニューの [設定] - [プリンタ] を選択して表示されるウインドウ内の SCREEN MultiStudio のプロパティ内で設定された内容が、特定のアプリケーションでは出力情報のデフォルトとなります。
- (3) SCREEN MultiStudio ドライバーをプリンタ共有する事は出来ません。  
使用するプラットフォーム毎に設定して下さい。
- (4) 特定のアプリケーションからプリンタファイル出力中に、プリンタファイル名を確認するメッセージが複数表示される場合があります。  
これはアプリケーションからデータを分割して出力しているので、先に出力したファイル名とは異なるファイル名を入力して下さい。  
AVANAS MultiStudio に取り込む場合は、分割されたプリンタファイル全てを取り込んで下さい。  
Microsoft Excel などでは、各シートのページ設定内の印刷品質の解像度を合わせると、複数回にわたる出力確認のメッセージが表示されなくなる場合があります。
- (5) Microsoft PowerPoint から出力する場合、用紙サイズは SCREEN MultiStudio ドライバーの設定値で出力されますが、用紙方向 は Microsoft PowerPoint 側の設定値で出力されます。  
出力時に、Microsoft PowerPoint 側の印刷ダイアログボックスのプロパティで用紙サイズを確認して下さい。
- (6) Adobe PageMaker でプリンタファイルを出力する場合は、SCREEN MultiStudio ドライバーのプロパティ内のデバイス設定タグを選択し、デバイス設定のオフセット補正を<有効>にして下さい。  
その後、SCREEN MultiStudio ドライバーを通常使うプリンタに設定して、プリンタファイルを出力願います。  
尚、Adobe PageMaker 以外のアプリケーションを御使用になる場合は、上記、デバイス設定のオフセット補正は 必ず<無効>に戻して下さい。
- (7) Microsoft Word からプリンタファイルを出力する時点で、Microsoft Word が異常終了する事があります。  
この現象が発生した場合は、印刷のオプションで“バックグラウンドで印刷する”をオフにして再出力すれば、正常に出力される場合もあります。  
この現象は、通常のプリンタに出力する場合も同様に発生する現象です。
- (8) Microsoft Visio2000 から 2 回目以降の出力で解像度を変更すると文字間、文字サイズが異常となります。
- (9) Microsoft Word からの出力時の留意点・制限項目
  - ①印刷時に、出力用紙としてカスタム用紙を選択した場合、サイズに近いシステム用紙サイズで出力されてしまう場合があります。  
Microsoft Word2000 側で用紙サイズを強制的に変更してしまいます。  
この現象を回避するには、SCREEN MultiStudio の用紙設定ツールで、出力対象のカスタム用紙のみ登録状態にして出力する方法のみが回避方法です。
  - ②拡大・縮小にて出力する場合、正常に出力されません。

この件は Microsoft サポート技術情報に記載されている Microsoft Word の不具合です。

- (10) Windows98/Me 上で Justsystem 一太郎のグラデーションを出力すると、プリンタファイルが非常に大きくなり、取り込みに時間がかかる場合があります。

このような場合は、一太郎の印刷設定で [印刷] [補助設定] [グラデーション] の設定を、[イメージ] にて出力するモードに変更すると、プリンタファイルを小さくすることが可能です。

### 3.2 SCREEN MultiStudio Viewer に関する留意点・制限項目

- (1) 高解像度のプリンタファイルを全体表示しても、ページ全体が表示されない場合があります。  
Windows GDI の制限により、SCREEN MultiStudio Viewer にて、表示領域を制限しています。  
又、同様の問題で、一定倍率以上のズームも SCREEN MultiStudio Viewer にて制限しています。
- (2) Microsoft Word/Excel/PowerPoint で設定された半調部品は、SCREEN MultiStudio Viewer 上の表示では、半調表示になりませんが、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合は、半調部品として取り込まれます。
- (3) Microsoft Word/Excel/PowerPoint/Publisher で貼りこまれた EPS 画像は、SCREEN MultiStudio Viewer 上の表示では、プレビュー表示になりますが、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合は、EPS 部品として取り込まれます。
- (4) Windows2000 にて、一部パターンが出力元アプリケーション上の表示と異なる場合があります。  
このような場合には、[表示]-[設定]の伸縮モード固定をチェックすることで出力元アプリケーション上の表示結果と同様な表示になります。  
AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合も同様に [補助]-[Windows データ設定]-[Windows データ詳細設定]の伸縮モード固定をチェックすることで、出力元アプリケーション上の表示結果と同様な結果となります。
- (5) Windows98/Me 上の Viewer で、罫線の角部分を高倍率で表示させると、一部欠けて表示される場合があります。
- (6) WindowsXP 上の Viewer の表示で、倍率によりスジが入る場合があります。

### 3.3 SCREEN MultiStudio Viewer/Print に関する共通の留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Viewer/Print よりのプリンタ出力は、出力先のプリンタドライバーの能力に依存します。  
このため、Windows アプリケーション上のデータを正確に出力できない場合があります。
- (2) Microsoft Word/Excel/PowerPoint で設定された半調部品は、SCREEN MultiStudio Viewer/Print よりのプリンタ出力では、半調で出力されませんが、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合は、半調部品として取り込まれます。
- (3) Microsoft Word/Excel/PowerPoint で貼りこまれた EPS 画像は、SCREEN MultiStudio Viewer/Print より PS プリンタに出力した場合は、EPS データ内の実画像が出力されます。  
GDI プリンタへ出力した場合は、プレビュー画像が出力されます。
- (4) SCREEN MultiStudio Compress にて圧縮されたプリンタファイルは、SCREEN MultiStudio Viewer/Print にて自動的に解凍を行います。  
解凍処理には設定されたテンポラリフォルダを使用しますが、空きディスク容量によっては、正常に処理ができない場合があります。  
このような場合には、テンポラリフォルダを空きディスク容量に余裕のあるドライブに変更して下さい。

### 3.4 SCREEN MultiStudio Compress に関する留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Compress により圧縮されたプリンタファイルには、専用の拡張子".dsv"が付加されます。
- (2) Ver. 2.2 以前のプリンタファイルに対しての圧縮・解凍処理は行うことは出来ません。
- (3) SCREEN MultiStudio Compress にて圧縮したプリンタファイルは、元プリンタファイルと比べて、平均 30%程度の大きさになります。  
但し、プリンタファイル内に画像が多く存在する場合は、十分に圧縮効果が出ない場合があります。
- (4) SCREEN MultiStudio Compress での圧縮・解凍処理は、設定されたテンポラリフォルダを使用します。

大きなプリンタファイルの圧縮・解凍を行う場合は、空きディスク容量によっては、正常に処理ができない場合があります。

このような場合には、テンポラリフォルダを空きディスク容量に余裕のあるドライブに変更して下さい。

### 3.5 SCREEN MultiStudio Scheduler に関する留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Scheduler の自動起動設定は、以下のツールにて設定出来ます。  
但し、SCREEN MultiStudio Scheduler の自動起動を無効にした場合、SCREEN MultiStudio Viewer/Print/Compress の自動制御は行えなくなります。

設定ツール名：DSWCustomTool.exe

ツール格納先：C:\Program Files\SCREEN MultiStudio 5.00

#### [操作方法]

- ①WindowsNT/2000/XP の場合、"Administrator"でログインする。
- ②"DSWCustomTool.exe"をダブルクリックする。
- ③ダイアログボックス上で、処理対象バージョンを指定し、有効／無効を設定する。
- ④OK ボタンを押す。
- ⑤ログオフもしくは、コンピュータの再起動を行う。

## 4. Unicode 固有文字使用時の留意点

### 4.1 Justsystem 一太郎に関する留意点

- (1) 同じドキュメントを、Windows2000 と WindowsXP+SP1 で開いた場合、一部の文字の字体が変わります。  
例えば、MS ゴシック/CJK 統合漢字 0x4e02/0x4e04/0x4e05 等の文字が、WindowsXP+SP1 ではゴシック系の字体で表示されますが、Windows2000 では明朝系の字体で表示されます。  
SCREEN MultiStudio ドライバーでは、画面上での表示結果が出力されます。

### 4.2 Microsoft Word/Justsystem 一太郎に関する留意点

- (1) 同じドキュメントを、Windows2000 と WindowsXP+SP1 環境で開いた場合、一部の文字が無くなる、もしくは未定義文字('.')になる場合があります。  
例えば、MS ゴシック/CJK 統合漢字 0x4e63/0x4e64/0x4e65 等の文字が、WindowsXP では明朝系の字体で表示されますが、Windows2000 では無くなる、もしくは未定義文字('.')になります。  
SCREEN MultiStudio ドライバーは、画面上での表示結果が出力されます。

### 4.3 Unicode 固有文字を入力する場合の留意点

- (1) WindowsXP+SP1/Microsoft Word2000 又は 2003 にて、MS 明朝/MS ゴシック等の字体でハングル文字の入力は可能ですが、実際は MS 明朝/MS ゴシック等の字体が使用されている訳ではありません。しかし、入力した文字の位置にキャレットを置くと”MS 明朝/MS ゴシック”と表示されます。  
この WindowsXP+SP1 で作成されたドキュメントを WindowsXP+SP2 で開くとハングル文字は、未定義文字('.')になります。  
SCREEN MultiStudio ドライバーでは、画面上での表示結果が出力されます。
- (2) WindowsXP+SP2 で IME パッドでハングル文字を表示するフォントは①ですが、実際に使用できるフォントは②の通りです
- ①IME パッドでハングル文字を表示するフォント  
Batang/Dotum/Estrangelo Edessa/Gautami/Gulim/Gungsuh/Latha/Mangal/Microsoft Sans Serif/MV Buli/Raavi/Shruti/Tahoma/Tunga 等
  - ②Microsoft Word 等に指定フォントで入力できるフォント  
Batang/Dotum/Gulim/Gungsuh
- ②以外のフォントにて入力されたハングル文字は、自動的に他のフォントに置き換わります。  
SCREEN MultiStudio ドライバーでは、画面上での表示結果が出力されます。



- (3) WindowsXP+SP1/Microsoft Word2003/MS ゴシックにて、0x4e06 等を入力すると他のフォントに自動的に置き換わります。入力した文字の位置にキャレットを置くと、使用されているフォントが確認できます。

SCREEN MultiStudio ドライバーでは、画面上での表示結果が出力されます。

- (4) WindowsXP+SP1/Microsoft Word2000 又は 2002/MS ゴシックにて、0x4e06 等を入力すると他のフォントに自動的に置き換わりますが、入力した文字の位置にキャレットを置いても”MS ゴシック”と表示されます。

SCREEN MultiStudio ドライバーでは、画面上での表示結果が出力されます。

以上。